

ブルーシアフロアブルの特長

- 一年生イネ科および広葉雑草に高い茎葉処理効果を示します。
- イヌホオズキ、イチビ、シロザ等の問題雑草に卓効を示します。
- 飼料用とうもろこしに影響が少なく、品種を選択しません。
- 効果発現は比較的早く、新葉を白化させ、枯死させます。
- コンパクトな処理量(40~75ml/10a)です。

【試験概要】実施：札幌支店（社内展示圃試験）

希釈薬量	ブルーシアFL 50ml/10a
作物名	飼料用とうもろこし
雑草名	一年生イネ科雑草、イヌホオズキ、シロザ
処理時葉齢	3~4L
実施場所	北海道十勝地域
散布日	2018年6月24日
調査日	2018年7月5日（散布11日後）
	2018年7月11日（散布17日後）
散布器具	ブームスプレーヤー
試験規模	3ha

【試験結果】



6月24日散布前



7月11日（17日後） 処理区



7月11日（17日後） 慣行区

イヌホオズキが
優占した圃場
での試験です



- 処理区
ブルーシアフロアブル50ml
+ワンホープ乳剤120ml
+ゲザプリムフロアブル100ml
- 慣行区
ワンホープ乳剤120ml
+ゲザプリムフロアブル100ml



7月5日（11日後）



処理区 慣行区

ドローンにより上空から撮影。ブルーシアフロアブルが散布された部分は雑草密度（主にイヌホオズキ）が低いことがわかります。

除草剤

ブルーシアフロアブル

札幌支店が行ったブルーシアフロアブル（飼料用とうもろこし）社内展示圃試験の様子をご紹介します。

(Ishihara Bioscience Japan) 石原バイオサイエンスの略

IBJ 防除情報

令和2年
2月27日発行

第104号



センチユウ検定サービス実施中！

弊社では、圃場の土壌をご送付頂き、その土壌中のセンチユウ数を測定し、防除計画のご参考にして頂くセンチユウ検定を無料で実施しております。
詳しくは弊社担当者へお問い合わせください。

ブルーシアフロアブル(処理区)はイヌホオズキに対し高い効果を示した。

ブルーシアフロアブル(50ml) + ゲザプリムフロアブル(100ml)を基準として、イネ科雑草広葉雑草への効果発現(発現速度)を比較した。
北海道江別市圃場<2018年6月14日散布 写真:処理12日後>

ブルーシア(50ml)+ゲザプリム(100ml) ワンホープ(125ml)+ゲザプリム(100ml)



ブルーシア区は12日後には雑草は完全枯死、ワンホープ区は12日後の時点では完全枯草に至っていませんが3週間後には完全枯死に至りました。

イネ科雑草への効果発現比較

こちらでは薬剤の組み合わせ、違いによる効果を比較をした社内試験事例をご紹介します。
ブルーシアフロアブルは単用ではやや効果発現が遅いものの、ゲザプリムフロアブルとの組み合わせで雑草の枯れ方が早まるのが確認できました(相乗効果)。ワンホープ乳剤とゲザプリムフロアブル、ブルーシアフロアブルとワンホープ乳剤の組み合わせでは、同じ効果は確認できませんでした。

雑草の枯れ方の違い

ブルーシアFL単用(50ml/10a)



スカシタゴボウ

ゲザプリムFL単用(100ml/10a)



散布7日後

ブルーシアは中心部から白化、ゲザプリムは外側から枯れる現象が確認されました。異なる所に効果が発現されることは興味深いですね。

写真:2017年北海道十勝地域試験時撮影

知って得する?! コラム

ワンホープ乳剤は飼料用とうもろこしの生育期に使用できる茎葉処理剤として20年以上ご愛顧頂いております。一年生の広葉雑草やイネ科雑草のほか、多年生イネ科雑草にも高い効果を示すため、牧草後作でも有効な除草剤です。しかしながら、長年使用することでイヌホオズキやイチビのような苦手な草が優占してしまう例も報告されています。

ブルーシアフロアブルはイヌホオズキやイチビに高い効果を示すため、このような雑草が目立つ圃場にはブルーシアフロアブルの使用が効果的です。加えてブルーシアフロアブルは飼料用とうもろこしの品種に関係なくご使用頂けます。

ブルーシアフロアブル、ワンホープ乳剤、それぞれの特長を生かして使い分けすることで、圃場の雑草を上手に防除する管理をお勧めしています。



ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2

TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

